

開催報告

Leshchinsky教授特別講演会

防衛大学校 宮田喜壽 (行事委員会)

平成11年11月4日(木)に米国 Delaware 大学 Leshchinsky 教授の講演会が下記の要領で開催されました。

日 時：平成11年11月4日(木) 15:00～19:00

会 場：(社)地盤工学会会議室

プログラム：

15:00～15:05 開会のあいさつ (龍岡文夫 IGS 日本支部長)

15:05～16:35 Leshchinsky 先生講演「Design Approach to Reinforced Steep Slopes」

16:40～17:30 ディスカッション

(1)話題提供 北村佳則氏 (日本道路公団)

「The Current Status of Reinforced Earth Walls in Japan」

(2)フリーディスカッション 司会：塚本良道先生 (東京理科大)

17:30～19:00 懇親会

Leshchinsky 教授は周知のとおり補強土工法に関する世界的な権威であり、今回の来日においても、こちらが把握するだけで、IS 四国での基調講演、地盤工学会九州支部での特別講演、TC 9 国内委員会参加など多忙なスケジュールが組まれていました。今回は、対数らせんすべりを仮定した急勾配補強盛土の安定解析法から、進行性破壊を考慮にいたれた設計法まで幅広い内容についてのお話をいただきました。続いて行われたディスカッションでは、北村氏より、わが国における補強土壁の現状について、事故例などの貴重な情報を含む話題提供があり、その後、塚本先生の司会で活発なフリーディスカッションが行われました。進行性破壊という複雑な現象を、従来の設計の枠組みから大きく外れずに、ピーク時と残留時の2種類の内部摩擦角を用いて考慮する点などについての意見交換は非常に興味深く感じました。

Leshchinsky 教授は来日前より、IGS 日本支部のメンバーと研究や技術を通して交流したいと強く望まれており、懇親会においても講演会に参加された皆様と非常に楽しそうに過ごしておられました。他の産業分野同様、地盤工学そしてジオシンセティックスの分野においても、設計コードや試験法に、国際的な整合性を求められるようになってきました。今回のように、海外の著名な先生から直接的に世界的な動向を知ることができる機会を今後も企画していく大切さを強く感じた講演会でした。